

紙上公開!!

片中防災備蓄倉庫

倉庫奥左側

6畳ござ200枚

組立トイレ2台



炊き出し大釜2台

ろ水機1台



燃料の備蓄はありません

3000Lのろ過能力があるとされています(主にブルーの水を使う)

ご注意: 以下のものは備蓄されていません



防災備蓄倉庫

折り畳み式リヤカー

パソコン



倉庫奥右側

サバイバルフーズ *1箱で6缶入り40箱 (約5000食分)



スタンドライト 5台

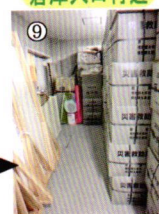
プライベートテント15基

給水ポリタンク10L300個



棚の下には発電機やコードリール、ブルーシートなど

倉庫入口付近



掲示板類

ペール缶トイレ 15個分の缶と便座

担架

毛布が入った箱が天井近くまでぎっしり! 2000枚もあるので足りそうですが、3.11の時に避難され泊まった方の話では1人1枚では寒かったそうです



ポリ袋600枚

<片中校舎 1F>



地下埋設式トイレ(汲み取り式) 600L×5基

成人の1日あたりの尿量を1.5Lとすると、2000人の1日分で満杯となる容量



広域避難場所及び避難施設
片瀬中学校

3日間分の備蓄に加えて

電気・ガスが無くても 煮炊きできますか？

3日目以降の公的支援が充分でない場合もあります

* (目安) は震度6強で
津波の無い東北の
被災地域の方の話
などを元にしてます

電気

(目安: 数日~10日)
通電火災にご用心!

阪神大震災のライフライン復旧状況(神戸市)

	応急復旧終了	被災後の日数
電気	1月23日	6日
電話	1月31日	14日
都市ガス	4月12日	85日
水道	4月17日	90日
下水道	5月31日	134日

※いずれも被害の大きい地域は除く

(目安: 2週間)

・ゴミ収集

(地域外支援状況による)

・プロパンガス

(業者の採配による)

水道

(目安: 2週間~1ヶ月半)

ガス

(目安: 1ヶ月~2ヶ月)

・下水道 (目安: 数ヶ月)



風には弱いので
室内向き。
最近は写真のよう
な防風型もある

カセットガスボンベ



火が安定している
コンロでは圧力鍋
や保温調理鍋を
使うと時短でき、
火力が多少弱く
ても炊飯が可能

風にはそこそこ
強い屋外向き



使える燃料の種類が違うので注意

タンクは赤がホワイトガソリン用
シルバーが無鉛ガソリン用

ガソリン缶詰



(車のガソリン)

発電機と同じく、ガソリンを
使用する物は1・2か月毎に
メンテナンスが必要。長期間
使わない時や移動の際は、
必ずガソリンを抜いておかな
いと、部品が傷んだり液漏れ
し、動作が不安定になり易い。
予備の部品も忘れずに!

ホワイトガソリン



炭



金属製の
しちりん

しちりん

豆炭

ガストーチや
着火剤が
あると便利!



練炭



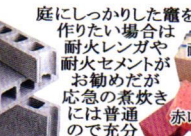
練炭には専用に
「練炭コンロ」を使う

切り炭

薪ストーブ



薪の他に廃材も
燃料にできる



庭にしっかりとした竈を
作りたい場合は
耐火レンガや
耐火セメントが
お勧めだが
応急の煮炊き
には普通
ので充分

耐火レンガ

赤レンガ



ペール缶で手作りされた
ロケットストーブ

少ない燃料で
高火力が
得られる



昔ながらの
一斗缶での焚火

サバイバル飯として
最近流行った
空き缶炊飯
(燃料は細切りにした
牛乳パック)



給水車を待つ
お年寄り

コンビニの
前に並ぶ長い列

ライフラインの復旧まで

編集後記: 築44年の我が家の耐震補強を行った。
筋交が不足していたり、思わぬ所が腐っていたりと、
予想以上だったが、市からは診断補助金の交付や
固定資産税の減額措置もあった(窓口は建築指導課)



片瀬山防災会

発行: 片瀬山防災会

連絡先: メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者: 会長(鶴岡) 編集責任者: 広報(川副)